

## 3. 認知症の人への接し方

認知症の人とも一般の人とのつきあいと、基本的には変わりません。そのうえで、認知症の人と接するときは、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切となります。

認知症の人への対応の心得 3つの『ない』

### 1. 驚かせない 2. 急がせない 3. 自尊心を傷つけない

#### 具体的な対応の7つのポイント

##### ① まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守りましょう。近づきすぎたり、ジロジロ見るのは禁物です。

##### ② 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

##### ③ 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声かけを行います。

##### ④ 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ってから声をかけます。唐突な声かけは禁物です。

##### ⑤ 相手の目線に合わせてやさしい口調で

小柄な人の場合は、身長を低くして目線を同じ高さにして対応します。

##### ⑥ おだやかに、はっきりと

高齢者は声が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。

##### ⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いにこたえることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。

参考：全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう」